

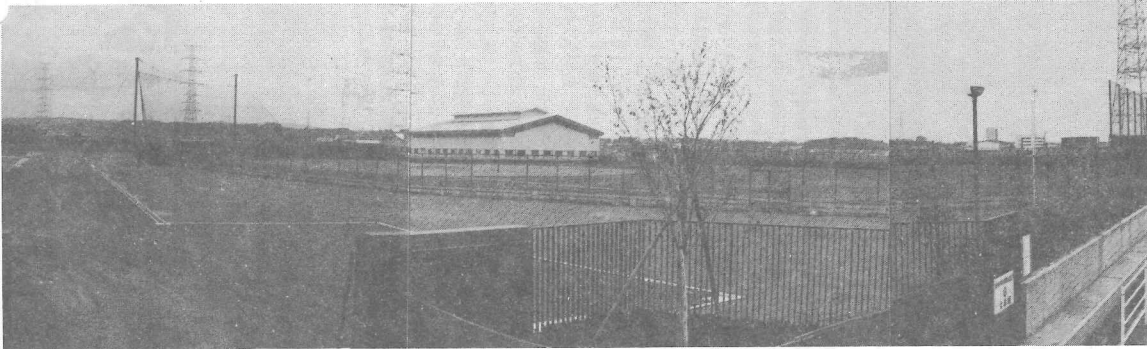
古しきゆかしい名跡の郷

多賀城育英グラウンド完成

学園だより

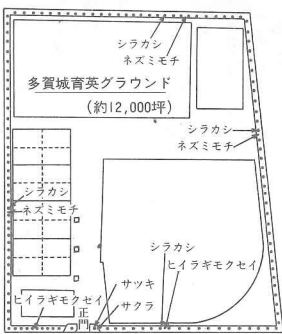
創立八十周年記念事業 グラウンド緑化計画

同窓会も協賛



正門より多賀城育英グラウンド全景を望む

多賀城育英グラウンド略図A



昭和六十年。今年は育英学園にとって、極めて折目として重要な年になってい

ます。即ち創立八十周年になつており、去年より記念事業としていろいろと計画され企画されて来ていますが、本学園、同窓会もその学園の事業に賛同するのは勿論のこと、その事業の一つである、多賀城育英グラウンドの完成に、つまりグラウンドの緑化計画に貢献させて頂くことに役員会にて提出採択され、総会にて承認を得たわけでありませぬ。

「多賀城育英グラウンド」これが正式の名称です。概要を申しますと、場所は古しきゆかしい名跡の近く、仙石線の中野栄駅より北東のところに多賀城側に入りますが、田んぼの真中に位置しております。広さは総面積約四万八千六百八十八方メートル(約一万二千坪)であります。

詳細は略図Aを御参照して頂ければすべて御理解出来ると思ひます。グラウンド全体が近代的に、即ち水排けがよくグラウンド周囲全体がコンクリートで、グラウンドに必要以上にたまる水はすべて側溝に流れる仕組みになっております。又隣接する田んぼに直接害をおよぼさないように工夫した側溝になってい

ます。グラウンド内の各競技場は、略図に示してある通りです。

同窓会として協賛事業をして行く領域は、勿論、緑化計画に協力することです。この計画に関しては、加藤常務理事を中心に強力なプロジェクトチームにより推進されて来ていますので、詳細につきましては、このチームに一任することになります。

尚、同窓会としましては何名かの代表を参加させて頂かなくてはなりませんし、その様になっていると思ひます。

又具体的にどの場所に、それにどんな植林を行うのか、それもチームで決定されるものと思われませんが、現在、大枠に周囲にはシラカシとネズミモチ、正門付近にはシラカシとヒイラギモクセイ、正門前にはサツキがすでに植林を終えています。

尚、中央とか各競技場の近く、又はグラウンド内の小径の脇にも必要であろうかと思ひます。

以上、緑化計画について具体的に進行している現状です。以上報告させて頂きました。

〈特別進学課程〉

一流進学学校への躍進

創立八十周年記念事業の一環として、東北地方に全国レベルの一流進学学校を目指し、英才教育の場として特別進学課程が誕生してはや一年余が過ぎました。

1 一期生と二期生

○本年度は八十三名の二期生を迎え、特別課程も一段と充実し、一七〇名全員が将来に対する確固たる目標をもって猛勉強に取り組む毎日です。

○一期生は第二学年への進級に際して文系・理系の各コース別に編成され、二年後の一流大学合格を目指し、今や計画性をもつて邁進しています。

○四月十日より、入学早々の四月十日より二日間で、本学園松島研修センターにおいて二泊三日のオリエンテーションを行い、寝食を共にしながらスポーツ活動やレクリエーションを通してお互いの絆を深めました。また、将来についての抱負や職業観を語りながら「大学進学とはどういうことか」をまず考えさせ、三年後の目標を確立させる第一段階的指導を行いました。今後段階的指導を行いつつ特進生としてのプライドをさらに深

2 教育課程

自主学習の確立

○進学指導部独自のノウハウによる集約した教育課程「二年半プラス集中特訓」方式により、時間のロスを最大限に減らすよう編成し適切かつ能率的な指導が行えるような指導体制が組まれており、一期生は一年終了時点において、各教科共二年次の一学期の課程まで修了しました。

○各学期の定期試験や各種実力テストの結果については、コンピュータ処理によって分析し、個人の成績の推移を追跡しその後の学習に対する指導の貴重な資料として活用しています。

○本年度も昨年同様様々なセミナーにおいて実施される夏・冬期講習会において全員が受講し、対外試合の経験をするよう計画されております。

3 実力コンテストと対外試合

○昨年度は、在学懇指導「大学選定指導」の一環として四月には慶応義塾長石川忠雄先生、五月、十二月には明星大学教授浜野成生先生、七月には三菱銀行仙台支店長志村邦夫氏、十月には筑波大学附属高等学校教諭齋藤誠毅先生、三月にはタイガーパーム社の会長夫人であり国際人として活躍しているシンガポールの財界

4 進学への姿勢の確立

○昨年度は、在学懇指導「大学選定指導」の一環として四月には慶応義塾長石川忠雄先生、五月、十二月には明星大学教授浜野成生先生、七月には三菱銀行仙台支店長志村邦夫氏、十月には筑波大学附属高等学校教諭齋藤誠毅先生、三月にはタイガーパーム社の会長夫人であり国際人として活躍しているシンガポールの財界

5 校外体験学習

○昨年度は、七月に秋田県田沢湖畔で、三泊四日の特別合宿勉強会を、三月には二泊三日のスキー教室を実施いたしました。本年度はさらに趣向を変え入学早々に松島研修センターでの二泊三日のオリエンテーションを、七月には希望者を対象に約三週間の日程で、アメリカのリバーサイド、サンフランシスコを中心に海外語学研修を、また同月に北海道での五泊六日の校外体験学習と幅広い教育の機会を持ち、特進生として必要な知性・道徳心・体力を確立するよう配慮がなされています。

6 大志塾塾

○特別進学課程には、本年四月に開設した「大志塾塾」(学園直営)があります。現在五十一名の塾生が入塾し、単に日常生活を送るだけでなく、勉強・精神修養・体力の向上を目的として多くのプログラムが準備されています。塾生は塾頭をはじめ教監、スーパーバイザー(生活教諭)、そしてチューター(グループ・個別学習を指導)たちによって、塾則に定められた一九三〇分から三時三〇分までの義務学習の時間を過ごし、国語・数学・英語の主要三教科についてタイムテーブルが組まれ講義が行われています。また、身のまわりについては、寮父・寮母が親がわりとなつて世話をしており、寮生全員が大きい志をいだきながら塾生活を送っています。

人胡曉子女士など、社会的リダーとして名高い方々に約六回に亘る講話をいただきました。また大志塾塾(特進生専用寮)のチューターを代表して石川浩史君(東北大学医学部在学)、赤坂泰典君(東北大学法学部在学)の両名から受験体験談を話してもらいました。父兄生徒においては大学進学的重要性を認識・啓発させる機会となり、極めて有益な時間をもつことができました。

○本年度はすでに入学式当日に、(株)学習研究社取締役編集局長高木俊雄氏の記念講演会を行いました。五月には東京都教育委員会委員長で元早稲田大学総長村井資長先生の「大学進学とは」と題しての講演会を行い生徒、父兄に深い感銘を与えました。これを皮切りに昨年度を上回る回数で著名人の講演会の実施を計画しています。

○昨年度は、七月に秋田県田沢湖畔で、三泊四日の特別合宿勉強会を、三月には二泊三日のスキー教室を実施いたしました。本年度はさらに趣向を変え入学早々に松島研修センターでの二泊三日のオリエンテーションを、七月には希望者を対象に約三週間の日程で、アメリカのリバーサイド、サンフランシスコを中心に海外語学研修を、また同月に北海道での五泊六日の校外体験学習と幅広い教育の機会を持ち、特進生として必要な知性・道徳心・体力を確立するよう配慮がなされています。

- 特進課程には、本年四月に開設した「大志塾塾」(学園直営)があります。現在五十一名の塾生が入塾し、単に日常生活を送るだけでなく、勉強・精神修養・体力の向上を目的として多くのプログラムが準備されています。塾生は塾頭をはじめ教監、スーパーバイザー(生活教諭)、そしてチューター(グループ・個別学習を指導)たちによって、塾則に定められた一九三〇分から三時三〇分までの義務学習の時間を過ごし、国語・数学・英語の主要三教科についてタイムテーブルが組まれ講義が行われています。また、身のまわりについては、寮父・寮母が親がわりとなつて世話をしており、寮生全員が大きい志をいだきながら塾生活を送っています。
- このように、特別進学課程は、英才教育の場として本校独自のユニークなノウハウに基づいて、一流有名大学出身の情熱あるスタッフが一流進学学校として躍進するため日々努力しているのです。
- 最後に本年度特進の担任と新任の先生を紹介いたします。
- 〇二年担任
特組 横田雅志・国語科 (東北大学卒)
進組 小黒 仁・理科 (東北大学卒)
- 〇一年担任
文組 菊地 俊・国語科 (東北大学卒)
理組 鈴木 弘・数学 (東京大学卒)
- 〇新任
渡部 進
北海道大学卒
数学科
スーパーバイザー
藍沢 和
国際キリスト教大卒
オハイオ大学院卒
英語科

会員寄稿

白いチヨークの跡

昭和二十九年卒

今野 仁

梅雨に入ると思い出す師がいます。長嶺先生である。二年前の六月三十日、九十歳で永眠された。おきまにまいます」とはつきりいっての他界だったことである。いかにも先生らしい言葉である。私は三十四年前、先生に受けていただいた。その年の入学早々、校長面接なるものがあつた。池村豊治郎先生に「君はこんな成績でどこを受けたのか」ときかれ、先生の前任校の「仙台二高です」と答えた。あのときの口惜しさは今も忘れてはいない。「将来の志望は「東北大学です。これが実現するに浪人を二年も

母校での或る思い出

昭和二十九年卒

桑島 聖 吉

昭和二十年後半、育英高校より宮城球場に至る周辺は、まだわずかながら草が点在し、宮城野の面影が残っていた。当時の母校は、古びた二階建ての木造校舎であり、ローカルの両側に教室が並んでいた。結構大勢の生徒を取容することができたその学園内で、想い起こすこと三十年前、数々の出来事がありますが、特に印象深かったことを、一つだけ紹介しよう。それは、昭和二十九年のこと、ほぼ戦後十年を経過して、民主主義的思想も定着しかつた時代である。一方、高校生気質にも漸次

終戦のころ

旧中第十九回(昭二十年)卒

梅津 茂

うね」と切り出された。その頃、私のクラスだけでなく、かなりの新人生が所謂私立校に在籍のままで、こつと次年度の公立校受験をして、入ればやめたいというものがあつた。確かに、私もその気持が全然なかつた。その迷いを先生は看破され、動揺する私に静かな口調で「鶏頭となるも牛尾になる勿れ」とおっしゃつた。今となつては、古い言葉だがその時の私は、この一言で「よし、がんばって、大学受験で本当に初心貫徹してやろう」と思つた。生徒のちよつとした心の動きをも見逃がさず、冷静に、しかも暖かまなす先生一流の教育で、私共が進むべき路が決まつたと信じている。今の教育で欠けているもの一つに人間が人間を育てるという

母校八十年によせて

旧中第十三回卒

佐藤 百二

母校創立八十年を心から祝うとともに今後ますますの発展を願うものです。省りみず、私が通学していたころの校舎は木造建築で現在の建物とは雲泥の差がありました。しかし、それなりにいろんな思い出があります。なんと云つても忘れられないのは、昭和二十五年四月、私が復員して間もなく母校を訪れたとき、そこには何にもなかった。しかし、この付近だろつとついた末、近くの方にたずねたら、校舎は戦災で焼失し、台の原あたりにあると云つた。それから三十五年の年月

支部だより

育八会同級会

旧制第八回卒

新野 養治

昭和五十九年十一月二十二日、東二番町の「力すし」屋で八丁君が幹事になり、同級会(旧制八回卒)を開く。現在消息のわかつていない別紙名簿のとおり二十名、消息のわからない者も何名かいるが、大東亜戦争で戦病死した者もいて、七名の卒業生のうち半数の他病死した者もいて、最後に母校の校歌を斉唱し、万才三唱して来年の再会を約して散会した。

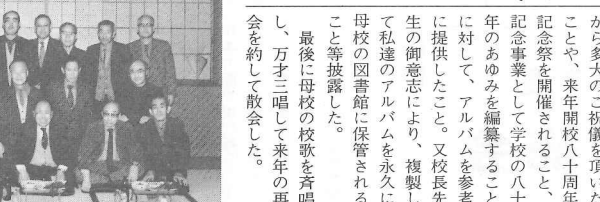
仙台信用金庫育英会

昭和三十五年四月発足

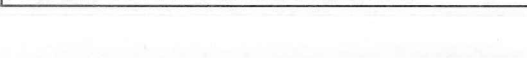
岩 勇

毎年参加者はほぼ全員と一致団結しており、若人の多いなかで今後の活躍が楽しみである。尚、松島五五堂の営業部長は育英出身(遠藤久男)で、サレビス(レズリン部)であり、サービスをして頂きました。ありがとうございました。

正月の二十五日(金)、気候の利く「助六寿し」の三階大広間で、恩師京極冬蔵先生(旧姓中川)をかこんで三会の新年会を開きました。副会長以下総勢十余名、卒業以来初めてという顔ぶれもいて、昔時のごとく昨日のごとく彷彿として話題につけて、寒さを忘れる、なごやかな一夕でありました。もつともつと参加者があれば、一層盛り上がるものと思いましたが、種々都合があつて欠席とのハガキをもらつております。なお、育英同窓会様より多大のご祝儀を頂いて楽しく出来たことを参加者一同喜んでおります。厚くお礼申し上げます。



京極冬蔵先生のご住所 仙台市台原七丁目六一四 電話 三四一〇九三九 三月十五日永い斗病の後 桐澤善祐君はみまかりました。謹んでご冥福をお祈りします。 後列左より西牧一男、藤島勇雄、佐藤亮吾福会長、渡辺盛(小林)、宮田精、森忠一の諸兄です。後刻菊地時敏君が参加しました。(文責 西牧)



総会だより

第30回 仙台育英学園同窓会 総会報告

昭和五十九年八月二十五日(午後五時から)
年と同じ、パレス・へいあんを会場として、第30回同窓会総会を開催いたしました。

一、開会の辞

ご多忙にもかかわらず、多数の会員の皆様のご出席をいただき、誠にありがとうございます。この一年間、皆様のご協力とご支援をいただき、本会の運営をつつと進んでまいりましたこと深く感謝申し上げます。

二、会長挨拶

本校は、来年創立八十周年を迎えます。その記念事業の一環として、(1)特別進学課程の設置、(2)多賀城への総合運動場および特進寮「大志義塾」の建設、また普通科総合コース制の導入等生徒の興味や要望に答えた学園作り大いに努力しております。

三、学校長(名誉会長)挨拶

一年振りに皆様と会いたし、皆様のハツラツとしたお顔を拝見いたして心から懐しくうれしく思います。ご協力をお願い申し上げます。

四、議長挨拶

皆様の「健康と益々のご発展とを祈念いたします。会則第10条により、会長を指名し、会長小坂信雄氏議長に就任。

五、議事審議

- 1 昭和58年度同窓会事業報告および収支決算報告
(審議の結果、承認される)
森田 忠氏(普6回)
2 会計監査報告
3 昭和59年度同窓会事業案および予算案
(審議の結果、承認される)
4 役員補充
故伊東英生氏(旧中1回)のご逝去に伴う監事の補

クラブ紹介

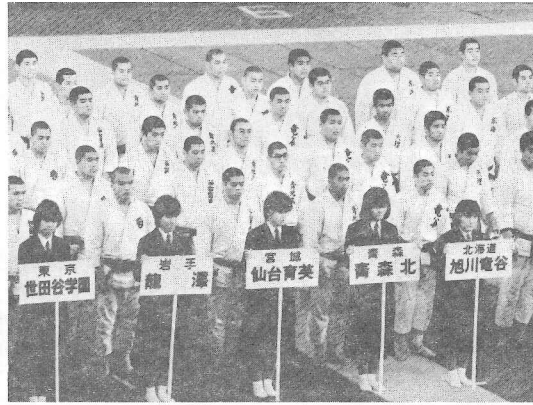
期待される柔道部

全国大会出場

柔道部監督 沢田敏明

学校創立八十周年という、気持ちの毎日でした。し記念すべき年に、柔道部は第七回全国高等学校柔道選手権大会に出場でき、大変光栄に思っています。これに備え校長先生はじめ、諸先生方の御協力の賜と深く感謝いたしております。

私達が六年前に仙台に来た時には、いかにした、クラブとして活動できるよになるか、また部員を確保することができたか、私達の悩みのたねでもありました。たつた二人の部員と大出たの新任教師二人が、10畳の新道場を稽古を始めました。その年エンターリーもつとこのことで一勝はあったが、一本すら取れぬ悲慘な結果でした。



東 世田台学園 仙台育英 青森北 旭川電谷 志 宇 津 宮 藤 北

六、閉会
大宮昭夫氏(商8回)が選出される。
懇親会
充つて
大宮昭夫氏(商8回)が選出される。



創立八十周年記念によせて

昭和二年 内藤 武

母校の創立八十周年記念日を目前に控え種々の記念事業が着々と計画され意義深く感激の至りでありました。八十年の学園のあゆみを振り返り創業の苦心や先輩の足跡を知ることは今後進むべき道を求め、将来の発展をはかる上に極めて有意義なことと思えます。

創立者加藤利吉先生の建学の精神は実に先見の明があつたと敬服する次第であります。先生は当初「育英塾」を開き、高等準備校を開設し受験講習会・模擬テスト等を実施して若人を励まし教育に専念されて名られました。次いで大正十二年三月仙台育英中学(旧制)を外記丁に開校し幾多の困難をも克服し今日の基礎を築き上げたのであります。当時私学は東北学院中学部・東北中学……など少なかつたのであります。校舎は予備校を借り始めた理科・化学実験室図書室・体育館等の施設設備もなく、多々、学習に不便を感じていました。その後、時代の遷変や学制改革とともに生徒数も年々増加し、校舎も増設され現在の高城野に昭和二十四年に移つたのであります。

創立者加藤先生は常に「至誠、質実剛健・自治進取」の精神をモットーとされ厳格な教育方針を持ち血のじむような努力をされ、ある時は、経済的困難と戦いながら建学の精神の下で情熱をもち、私学の重要性を強調し学園の経営運営に尽くされました。心から感謝申し上げる次第でありました。学園の教育課程も私学独自の特色あるものを制定し知育・徳育・体育の教育理念を基盤としていたのがうかがわれます。殊に英語教育に力を入れ講師として外人教師D・B・ジュナイダー博士を招いての英語の授業には興味があり印象に残っています。現校長加藤先生の就任以来、建学の精神に基いて教育の近代化をはかり、進学校・就職も向上し、東北地方の雄となつていくことは誠に喜ばしいことであります。また、現代社会の急激な変化の中で松島研修センターを始め特別進学課程・体育コース・総合制の実施等は画期的教育方針としてその期待は大きいものです。また、卒業生も三万余となり各方面で現代社会の中核となつて活躍していることはご同慶の至りと存じます。永い伝統が尊ばれるゆえには、常に日々伝統が積み重ねられ日々生成発展しているところにあると思う次第であります。

関係者を始め教師・生徒・同窓会が一九となつて母校の繁栄と建学の精神の充満する学園の実現に努めたく存じます。

生徒並びに社会の多様なニーズに応え、今後優れた人材を育成、数多く世に送り出すべく学園は今静かにそして沸々と何かが燃えたと感じ始めています。新しき形を高く掲げ、新しい伝統の形成を目指す学校教育の創造という画期的な大事業の完成を夢見、その理想の実現の為に全力を挙げて取り組む、創立八十周年の年であることと銘記してかかろう。

事務局だより

母校創立八十周年記念を迎えて、事業募金趣意書を配布し、会員皆様の賛同を得ていますが、今回も振込用紙を同封しますのでご利用下さい。
○創立八十周年記念行事の一環として、育英インターナショナル・センターの企画による「日・米姉妹都市交流高校生選抜使節団」が本校生で編成され(七月十七日)八月四日まで、米国リバーサイド市へ出発します。国際理解の成果が期待されます。総数百名。
創立八十周年記念祝賀パーティーが来る十一月二十一日(金)仙台ホテルで開催される予定です。会員皆様の参加をお待ちします。詳細は後日ご連絡します。
○会員寄稿欄をもっと充実していきたいと思っておりますので、皆様のご投稿をお待ちしております。
なお、今回会員寄稿にご協力を頂いた諸先輩に厚くお礼申し上げます。(事務局)

昭和60年度 同窓会総会 8月31日(土) PM 5:00より 会場 パレス・へいあん 仙台駅前広瀬通り 電話 65-5111 懇親会費 5,000円 (当日持参)